



平成30年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年9月29日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <http://www.okavamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第1四半期の業績（平成29年6月1日～平成29年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	2,208	1.5	△139	—	△118	—	△85	—
29年5月期第1四半期	2,175	△3.1	131	297.0	150	181.0	101	185.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	△17.31	—
29年5月期第1四半期	20.68	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	11,930	7,884	66.1
29年5月期	11,790	7,996	67.8

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 7,884百万円 29年5月期 7,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年5月期	—	—	—	—	—
30年5月期（予想）	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年5月期の業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,400	1.0	△170	—	△140	—	△140	—	△28.47
通期	9,200	10.1	65	25.9	100	5.9	65	1.4	13.22

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期1Q	5,500,000株	29年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	30年5月期1Q	583,136株	29年5月期	583,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期1Q	4,916,864株	29年5月期1Q	4,917,465株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第1四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における板紙業界におきましては、海外の需要増により原紙の原料となる古紙の価格が高騰したことを受け、原紙メーカーである当社を取り巻く経営環境は非常に厳しいものとなりました。

こうした状況のなか、当社は経営全般にわたるコスト低減に総力を結集する一方、需要に見合った生産レベルの維持と適正な製品価格の実現に努めました。そして、過去に例のない古紙の値上がりの状況下で収益を確保するため、板紙製品価格の改定を実施し、その浸透に努めました。

しかしながら、板紙事業におきましては、製品価格の改定の効果もあり売上高は増加したものの、原料価格高騰によるコスト高の影響を吸収するには至らず、大幅な減益となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,208百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業損失は139百万円(前年同四半期は営業利益131百万円)、経常損失は118百万円(前年同四半期は経常利益150百万円)、四半期純損失は85百万円(前年同四半期は四半期純利益101百万円)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、販売数量は微減でしたが、製品価格値上げの影響もあり、売上高は1,843百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品等の減少により、売上高は364百万円(前年同四半期比3.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は11,930百万円となり、前事業年度末に比べ139百万円増加しました。内訳は、流動資産が197百万円の増加、固定資産が58百万円の減少であります。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金262百万円の増加であります。また、固定資産減少の主な要因は、有形固定資産62百万円の減少であります。

負債は4,045百万円となり、前事業年度末に比べ251百万円増加しました。内訳は、流動負債が260百万円の増加、固定負債が9百万円の減少であります。

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金234百万円の増加であります。また、固定負債減少の主な要因は、退職給付引当金13百万円の減少であります。

純資産は7,884百万円となり、前事業年度末に比べ112百万円減少しました。主な要因としては利益剰余金114百万円の減少であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の67.8%から66.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、原料古紙価格の動向は不透明ながら、引き続き著しい高値で推移することが見込まれ、利益の確保が難しい状況となることが予想されます。加えて燃料価格の動向等不透明な要素が多いため、平成29年7月14日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,068,722	2,967,529
受取手形及び売掛金	3,041,618	3,304,509
商品及び製品	359,863	337,380
仕掛品	20,983	18,052
原材料及び貯蔵品	351,788	371,584
その他	172,310	214,144
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	7,013,286	7,211,200
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	500,652	489,398
構築物(純額)	110,078	108,373
機械及び装置(純額)	1,230,092	1,183,944
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	15,492	14,100
土地	194,549	194,549
リース資産(純額)	18,793	17,051
有形固定資産合計	2,069,657	2,007,418
無形固定資産		
投資その他の資産	3,911	4,366
投資有価証券	2,691,970	2,694,696
出資金	9,793	9,793
その他	2,295	2,564
投資その他の資産合計	2,704,059	2,707,053
固定資産合計	4,777,628	4,718,838
資産合計	11,790,915	11,930,039
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,026,649	2,261,394
未払金	273,359	278,604
未払費用	422,203	425,977
未払法人税等	2,163	4,834
その他	43,175	57,702
流動負債合計	2,767,551	3,028,514
固定負債		
繰延税金負債	549,581	558,452
退職給付引当金	409,798	396,303
役員退職慰労引当金	56,251	—
その他	11,024	62,604
固定負債合計	1,026,655	1,017,360
負債合計	3,794,207	4,045,875

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	734,950	734,950
利益剰余金	5,004,597	4,889,961
自己株式	△219,674	△219,674
株主資本合計	6,340,942	6,226,306
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,655,765	1,657,857
評価・換算差額等合計	1,655,765	1,657,857
純資産合計	7,996,708	7,884,163
負債純資産合計	11,790,915	11,930,039

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	2,175,619	2,208,347
売上原価	1,707,537	1,991,421
売上総利益	468,082	216,926
販売費及び一般管理費	336,900	356,051
営業利益又は営業損失(△)	131,181	△139,125
営業外収益		
受取配当金	17,637	19,761
その他	2,369	976
営業外収益合計	20,006	20,737
営業外費用		
売上割引	524	531
その他	2	0
営業外費用合計	527	531
経常利益又は経常損失(△)	150,661	△118,919
特別利益		
投資有価証券売却益	—	569
特別利益合計	—	569
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	150,661	△118,350
法人税、住民税及び事業税	45,085	1,014
法人税等調整額	3,860	△34,230
法人税等合計	48,946	△33,215
四半期純利益又は四半期純損失(△)	101,715	△85,135

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。